

運営会議 たより

4月/2025年/NO.61

■発行：特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）[鎌倉市市民活動センター指定管理者]
■TEL/FAX:0467-60-4555 ■E-mail:rep@npo-kamakura.org ■http://npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

特集1：令和7年度重点項目

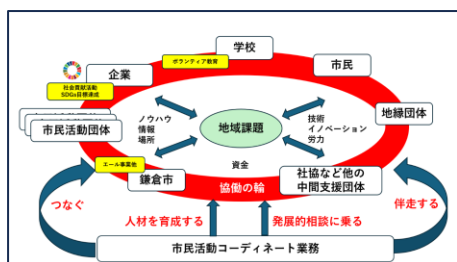
2：令和6年度部会報告

令和7年度重点項目

令和7年度は、第6期指定管理の初年度です。

次の4項目に重点を置き、センターの運営を行います。正会員の皆様のご協力をお願いします。

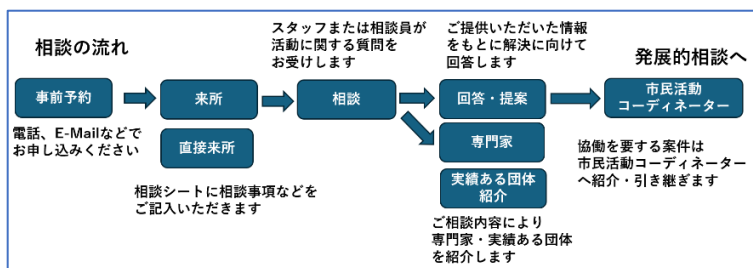
1. 市民活動コーディネート業務



2. 大船の無人化と予約システムの導入・定着



3. 相談業務の強化



4. 組織基盤の強化

- 組織内情報共有とサービス向上
- 個人情報の保護
- IT基盤の強化

新センター長を迎えて

令和7年度から、先に公募したセンター長 渥美貴司が着任します。週に5日の常勤になります。

令和6年度 部会活動報告

令和6年度の正会員の皆様による部会活動の成果を2ページ目以降に掲載いたします。

部会活動を実施いただきました正会員の皆さまに感謝します。（理事長 小島政行）

■ 鎌倉市市民活動センター運営会議(以下、運営会議)は、

市民活動の支援を目的とする中間支援組織です

■ 運営会議は、NPO センター鎌倉・大船2館の指定管理者です

■ 鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします

■「エール事業」の周知と活用

令和4年(2022年)度より「かまくらエール基金」(以下エール基金)を活用した「つながる鎌倉エール事業」(以下エール事業)が新たに設立されました。

この事業は、2007年から15年続いた「相互提案協働事業」を見直し、市民活動への支援を体系化したものです。

エール基金は、「ふるさと納税」を利用し、市民活動推進基金(エール基金)への寄付金が主な財源となっています。「ふるさと納税でNPO支援」です。

私たち協働事業推進部会(4月以降は市民活動協働推進室)は、「つながる鎌倉エール事業」の周知徹底と活用の促進を図り、市民活動の一層の活性化を目指します。

以下は、「エール事業の応募数と採択数」です。(令和4年度が初年度)。

コース	令和4年度 (2022年)		令和5年度 (2023年)		令和6年度 (2024年)		記 事
	応募	採択	応募	採択	応募	採択	
①スタートアップコース	5	③	3	②	4	③	上限10万円/年
②協働コース	6	③	3	②	2	①	上限50万円/年 令和6年度より「最大3年間」
③地域活性化コース	---	---	---	---	3	②	令和6年度より提案受付 上限30万円/年。2回まで可。

事業期間：①スタートアップ : 提案年度の8月1日～3月31日
② 協働 : 提案年度の翌年度4月1日～3月31日
③ 地域活性化 : 提案年度の翌年度4月1日～3月31日

下記は、2025年3月1日現在稼働している「エール事業」です。

①スタートアップコース

事業期間：2024年8月1日～2025年3月31日

事業名	団体名
①聞き書きボランティア養成講座	あしあと
②まちづくり事業	鎌倉小町まちづくりラボ
③多世代交流と居場所づくり事業	6+café (今泉台)

②協働コース

事業期間：2024年4月1日～2025年3月31日

事業名	団体名
①子どもが作るローカルマガジン「ことこと」	NPO 法人 マナビノキ
②野村総研跡地を魅力ある場所にプロジェクト	山桜を守る会

以上、協働事業推進部会からの報告です。

2025年3月25日 出川 記

■ 2024 年度 セミナー事業 報告

運営会議にはセミナー委員会があり、会員・登録団体・スタッフ・市民向けに、便利で役に立つ講座を実施しています。今年度は9回の講座+1回の個別対応の「スマホ講座」と2回の「散策セミナー」を実施することができました。

スマホ講座は1回1,500円で延べ31人の参加がありました。

スタッフまたは会員が講師を務め、検索の仕方、wi-fiのつながり方、グーグルマップの使い方、LINEの使い方など、意外と知らないが、便利な使い方がテーマの連続講座です。



市の広報での告知が使えないため集客に苦戦したものの、毎回来てくれる生徒さんもいます。

受講者数に合わせた少人数制のヘルプが可能で、ニーズに合わせたアプリ（例えばamazonや各種ポイント）の登録や利用法など、細やかな個別指導もしています。

受講者から「学んだ方法で海外にいる子どもや孫とビデオ通話できるようになった」「サイトで予約が便利にできるようになった」「スマホ写真で活動の記録や広報ができる」など好評で、講師陣としても生徒さんの「お役に立っている」手ごたえがあります。市民活動の信頼の向上にも貢献できていると感じています。

散策セミナーは参加費1,000円で延べ25人の参加がありました。

1回目は台から深沢、2回目は長谷や由比ヶ浜の散策です。観光や個人で行くことの少ない場所をつなぎ、一般の市民が暮らす地域を通るコースを歩くため、安全確保や周囲への配慮が必要となり、参加人数を絞りました。ポイントポイントで立ち止まり、その場所がかつて活躍した人々の歴史的エピソードを解説し、現在もそこで商いや管理を続ける人の生の声や活動するNPOの話を直接聞いて歩きました。

散策のゴールはセンター会議室や集会所にしてコーヒーやお茶で一服しながら交流する時間も作りました。参加者からは「歩いて健康的に過ごただけではなく、みんなで話す時間もあって楽しかった」「生の声を聞くことで歴史が生きていることを感じた」「すてきな活動をされている人がいることを知ってよかった」「次回は大船をテーマに」などの声をいただきました。

街の歴史が今も続いていることを体感できる講座になったと感じることができて、かかわってくださった方々全員に感謝します。



■ ファンド部会 2024 年度報告

NPO 支援かまくらファンドは、2001 年に鎌倉で社会貢献活動を行っている市民活動団体の活動資金を助成するため、鎌倉市市民活動センター運営会議に創設されました。

運営会議に市民の方々等より寄せられた寄附金で活動を助成するシステムで「市民が市民を支える土壌」を培う環境をつくりあげることが目的としています。2024 年度は、11 月 3 日に公開審査会を開催し、5 団体に総額 40 万円を助成しました。今回まで、延べ 125 事業に総額 800 万円の助成を行っています。今回助成金を受けた団体への助成金額及び用途は次のとおり。

事業名	団体名	助成金額 (万円)	備考
学習支援事業	特定非営利活動法人 この子キャリア応援団	100,000	ホームスクーラー達の学習支援の教材購入費
福祉活動とダンス	team HINATA	94,800	福祉施設等へのダンス慰問やチャリティーイベントに使用する ①iPad ②スピーカー の購入
地域食堂 「みんなのちゃぶ台」	みんなのちゃぶ台委員会	78,000	地域食堂で使用する調理道具、食器類の購入
子ども食堂 おとな食堂の 食育と地域交流推進	Table for Children's Café きみえ食堂	65,000	子ども食堂、おとな食堂で使用する ①すんどうなべ ②水切りかご③食器類（おわん、お盆）の購入
発達障がい児者と バーチャル航空体験	発達障がい児者支援グループ 「ふれんど」	62,200	発達障害児者のバーチャル航空体験に掛かる費用の約半額

■ 通常総会のお知らせ

令和 6 年度の締めとしての、そして令和 7 年度の開始時点としての総会が近く開かれます。

日時 : 5 月 25 日 (日) 18:00～

会場 : NPO センター鎌倉

ご都合がつかず、当日会場にお越しいただけない方は、後日送付されます総会開催通知に同封される委任状あるいは議決権行使書の提出をお願いします。

会 員 募 集

運営会議は会員によって支えられています
入会随時です。

〈会費〉

正 会 員 個人正会員 2,000 円

賛助会員

個人 1,000 円、2 口以上

団体 1,000 円、3 口以上

正会員数 125 名

賛助会員数 16 名

賛助団体数 168 団体（4 月現在）

鎌倉市市民活動センター運営会議は
「認定 NPO 法人」格を取得しています

“あなたのご寄附が、
鎌倉の街を元気にします”

ご寄附いただいた場合、「寄附金控除」
制度が適用され、確定申告で税金の還付
が受けられます
お問い合わせは運営会議事務局まで！！